

【プレスリリース】



多摩ケーブルネットワーク株式会社

2025 年 7 月 1 日

t-netインターネット接続サービス

バックボーン回線を60Gbpsから300Gbpsへ増強、ネットワーク機器も大幅リニューアル

～AI・動画・ゲームなど急増するトラフィックに対応、より高速・高品質なインターネットへ～

多摩ケーブルネットワーク株式会社（本社：東京都青梅市、代表取締役社長：舘 盛和、以下「TCN」）は、自社が提供するインターネット接続サービス「t-net」において、大規模な設備リニューアルとバックボーン回線の増強工事を完了しました。

今回の取り組みにより、t-netのバックボーン回線は従来の60Gbpsから5倍となる300Gbpsへと拡充されました。また、データセンターにおけるコアスイッチを、将来的な400Gbps対応が可能なArista Networks製「7280CR3-32D4」へと刷新。合計4台を導入し、超低遅延かつ高可用性を備えたネットワーク環境を構築しました。

さらに、主要CDN事業者との100Gbpsでの直接接続（PNI）も実現可能となり、動画・ゲーム・AIなど大容量コンテンツの高速配信にも対応。今後のトラフィック増加にも余裕を持って対応可能な構成となっています。

このリニューアルにより、t-netご利用中のお客様は、増大するインターネットトラフィック下でも高速・高品質・超低遅延な接続環境で、より快適にコンテンツをご利用いただけるようになります。

TCNでは、アメリカ・ロサンゼルス3拠点、オランダ・アムステルダム2拠点を含む、合計8カ所にグローバル拠点を設置しています。

2025年度内には、ロンドンのLINX（London Internet Exchange）およびフランクフルトのDE-CIXとの接続をさらに強化し、国際的なインターネットエクスチェンジ（IX）を通じた、より高効率なトラフィック交換の実現を目指しています。

これにより、今後も安定的かつ高品質なインターネットサービスの提供を一層推進してまいります。

【プレスリリース】

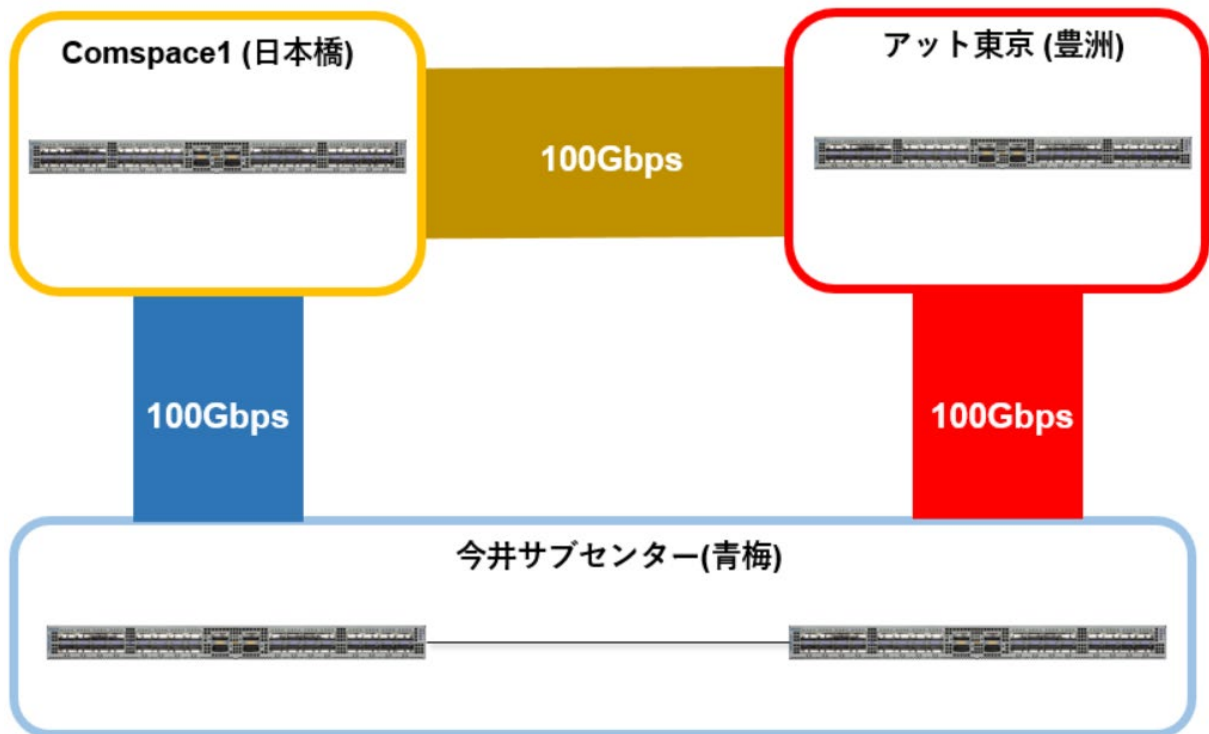
■LINX (London Internet Exchange) について

LINXは、英国ロンドンを拠点とする世界最大級のインターネットエクスチェンジ（IX）で、1994年設立。非営利のメンバー制組織として運営されており、ISP・通信事業者・コンテンツプロバイダーなど700を超える組織が参加しています。ロンドンの他、英国各地や米国にも拠点を展開しており、グローバルなトラフィック交換の中核を担っています。

■DE-CIX (Deutscher Commercial Internet Exchange) について

DE-CIXは、フランクフルトに本拠を置く世界最大規模のインターネットエクスチェンジ運営企業です。ヨーロッパ、アジア、北米、中東など約60拠点で相互接続サービスを展開し、世界100か国以上、数千のネットワークをつなぐハブとして機能しています。

【接続概念図】



«本件に関するお問合せ»

電話でお問合せください。おかけ間違いのないよう、ご注意ください。

総合窓口：0428 - 32 - 1351（受付時間：9:00～18:00）

担当：安高